

【教育目標】

- よく考え、最後までやりぬく子(知育)
- 思いやりがあり、助け合う子(徳育)
- 進んで体をきたえる子(体育)

【めざす学校像】

児童や教職員、一人一人が持つ良さと強みが発揮できる学校
～6年生がお手本となる学校～

学校だより

「はんだますい」

開き・関わり・育む

第10号
(R8.9.25)

坂田小学校
校長 金城美奈子



日頃の学習の成果を堂々と披露！！

校内音楽発表会（4年～6年）



9月25日（金）の2・3校時に、4年生から6年生を対象とした「校内音楽発表会」を開催しました。当日は多くの保護者の皆様にもご参観いただき、子どもたちは日頃の練習の成果を披露しました。プログラムでは、まず代表児童3名（5年生の阿部蒼大さん、6年生の照屋ひなさん、山城江玲奈さん）による独唱が行われました。堂々とした歌声と豊かな表現力に、会場から大きな拍手が送られました。続いて、4年生全員による合唱奏では、美しい歌声と心をつなげた演奏が響き渡り、学年のまとまりを感じさせる発表となりました。さらに、5年生と6年生は学級ごとに合唱を披露しました。どの学級も心をつなげて歌い、それぞれの曲のよさを十分に表現していました。また、合唱を支えたピアノ伴奏にも大きな拍手が送られました。4年の金城明花さん、園崎真那さん、比嘉杏衣彩さん、勝浦羽菜さん、5年2組の平山良治さん、5年4組の外間夕陽さん、6年3組の島尻百花子さんは、練習の段階から学級の歌声を支え、本番でも落ち着いて演奏する姿が見られました。伴奏者の美しい音色が学級の歌声を引き立て、合唱をより一層感動的なものにしてくれました。音楽を通して心を通わせるとともに、発表する喜びや仲間と協力して一つの作品をつくり上げる達成感を味わうことができた有意義な発表会となりました。今後も子どもたちが音楽に親しみ、表現することの楽しさを感じながら成長していけるよう支援してまいります。保護者の皆様の温かいご参観とご声援に感謝申し上げます。



読書月間の取組について～読書の秋～

本校では、8月24日（月）から9月30日（水）までを「読書月間」とし、読書に親しむ機会を広げるため、図書委員会を中心にさまざまな取組を行っています。この活動は、「読書の習慣化を目指し、読書意欲を喚起すること」、そして「読書後の感想を絵や文で表現することを通して、豊かな感性や創造力、表現力を養うこと」をねらいとしています。期間中は、おすすめの本の紹介をはじめ、図書委員による読み聞かせ、読書郵便、ポップや帯づくり、お気に入りの本の紹介、しおりづくり、読書感想画、読書感想文など、多彩な活動が計画されています。特に、図書委員会による読み聞かせでは、大型絵本や紙芝居を使って1年生児童に物語の世界を届けており、低学年の子どもたちは目を輝かせながら聞き入っています。また、「読書郵便」では、心に残った本を友達や先生に紹介することで、本を通じた交流が広がっています。ポップや帯づくりでは、本の魅力を分かりやすく伝える工夫が見られ、紹介された本を手取る児童も増えていきます。さらに、「お気に入りの本」の紹介では、高学年の児童がこれまでに読んだ本の中から特に印象に残った一冊を選び、その題名をカードに記入して紹介しています。しおりづくりでは、好きな絵やシールで飾ったオリジナルしおりを作成し、読書への意欲を高めています。加えて、読書感想画や読書感想文にも取り組み、本を読んで感じたことや考えたことを自分なりに表現する力を育てています。

読書は、知識を広げるだけでなく、想像力や心を育てる大切な学びです。これからも子どもたちが本と出会い、読書を楽しみながら豊かな心を育てていけるよう、読書



本の帯やポップ（紹介カード）

